身近な水環境を調べよう！

－「第 10 回 身近な水環境の全国一斉調査」参加のお願い －

全国水環境マップ実行委員会　　実行委員長　小倉　紀雄
長野支部責任実行委員　　沖野　外輝夫

「身近な水環境の全国一斉調査」は市民グループと国土交通省・（財）河川環境管理財団が連携し、実施しています。

本調査は、「パックテスト」という簡単な調査キット(無償で配布)を用いて、全国で一斉に調査を行い（約 5,600 地点）、その調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身近な水環境の様子が他地域と比較して良くわかります。

また、調査を 10 年 20 年と継続することで　この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。 子供から大人まで大勢の皆さまの参加申し込みをお待ちしています。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ(http://www.japan-mizumap.org/)や国土交通省河川局のホームページで公表されています。

調査日時　**2013 年 6 月 2 日（日）**※世界環境デー（環境の日）に近い日曜日
測定項目　気温、水温、ＣＯＤ、その他(任意)
測定方法　取扱説明書に基づき、調査キットにて測定
（調査キットは参加申込者に毎年 5 月頃事前に配布予定）

参加ご希望の方は　上記ホームページから参加申込用紙をダウンロードの上
2013 年 3 月 10 日までに E-mail または FAX で申し込みができます。

全国一斉調査　　お申し込み先
FAX : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

なお、ご不明の点は下記の信州水環境マップ・ネットワーク事務局宛てにご一報ください。また、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

信州水環境マップ・ネットワーク事務局　沼田　　清
〒389-0206 長野県御代田町御代田 2531-41-3-302
電話　0267-32-8608　携帯　090-9801-6671　E-mail : ecolabo@f4.dion.ne.jp
Web:http://shinsyu-mizumap.midorinooka.net/

2012 年　第9回身近な水環境の全国一斉調査
長野県版マップ　調査地点 208ポイント

番号	調査グループ名
1	千曲川水生昆虫研究会
2	諏訪湖クラブ
3	飯水自然調査研究委員会
4	軽井沢これで？いいん会
5	湯川　水の会
6	ecolaboグループ
7	長野市水環境研究サークル
8	NPO法人　水と森のネットワーク
9	グリーンヒル友の会
10	チーグル軽井沢
11	南相木小学校4年組
12	水環境チーム
13	こどもエコクラブ　生き物環境探検隊
14	須坂市高甫地域公民館
15	須坂市生活環境課
16	NPO法人　みどりの市民
17	ほっとスペース
18	(株)環境アセスメントセンター北信越支社
19	天竜川総合学習館かわらんべ
20	下高井農林高等学校
21	矢作川環境技術研究会
22	他に個人参加は4名

【2012年度全国水質一斉調査講評】

2012 年度全国一斉水質調査に参加された皆様ご苦労様でした。昨年度と同様に長野県下の測定地点の結果を一つの地図にまとめました。自身が測った地点の結果を他の地点と比較し、自分の身の回りの水環境に関心を持ち、その状況を判断する参考として下さい。

地図を見るとお分かりのように、今年、長野県下で測定された 208 地点中の 54%が水質良好でした。これは昨年の測定結果とほぼ同じ割合です。しかし、水質要注意の赤いマークは今年度も人口の多い都市周辺に集中しています。特に、千曲川水系の長野市周辺に集中しているのが気がかりです。一方、一昨年は赤マーク、昨年は黄マークの見られた諏訪湖流入河川は青マークが増え、改善傾向が認められます。諏訪湖流域市町村に住む人たちにとっては朗報ですが、なお一層の努力によりさらに諏訪湖の水質が改善されることを期待しています。長野県の水環境をさらに良好に維持していくためにも日常の気配りが重要であることを地図の中から読み取って下さい。今年は、長野県下の主な流域である木曽川水系、犀川水系の測定地点が増えたのも朗報です。

測定時の水質は測定前の天候や上流の状況に左右されます。人間活動の盛んな地域では一日の時間帯によって水質が大きく変わることもあります。水質測定の体験を機会にさらに詳しい水質の測定や川との様々な触れあいを心がけてはいかがでしょうか。自分たちが住んでいる環境の状況を自分自身で測ることにより、毎日の生活が身の回りの環境に配慮したものになることを期待しています。

今年度も全国統一した方法（パックテスト）で水質調査を行うことができました。統一した方法で今年も全国一斉に水質調査ができたのも事務局を中心とする関係者と各地域の参加者の誠意と努力によっています。その努力が報われ、今春、第 14 回「日本水大賞・国土交通大臣賞」（2012.6.26）を受賞しました。来年度にはさらに多くの地域で測定仲間が増えるよう皆様のさらなるご協力をお願いします。（沖野外輝夫記）